

仰星ニュースレター**ワンポイント会計基準****vol. 134 ASBJにおける「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」の改訂について**

企業会計基準委員会（以下、ASBJ という）は、平成 29 年 6 月 22 日に「現在開発中の会計基準に関する今後の計画」を改訂しました。これは現在の「日本基準」と「修正国際基準」の開発に係る検討状況及び今後の計画についてまとめられたものであり、今後公表が予定されている会計基準等の開発状況を把握する上で参考になります。挙げられている項目は以下のとおりです。

< 日本基準（※1） >

1. 開発中の会計基準又は指針（実務上の取扱いを含む）
 - (1) 収益認識に関する会計基準（※2）
 - (2) 税効果会計に関する指針
 - (3) 一括取得型による自社株式取得取引に係る会計処理に関する指針
 - (4) 権利確定条件付きで従業員等に有償で発行される新株予約権の企業における会計処理に関する指針
 - (5) 実務対応報告第 18 号の見直し
 - (6) マイナス金利に関連する会計上の論点への対応
 - (7) 仮想通貨に係る会計上の取扱いに関する指針

2. 今後、開発予定の会計基準又は指針（実務上の取扱いを含む）
 - (1) 「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の取扱い
 - (2) 子会社株式及び関連会社株式の減損とのれんの減損の関係

3. その他
開示に関する適用後レビューの実施

※1 日本基準：

我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準をいいます。

※2 収益認識に関する会計基準：

日本基準の体系の整備を図り、日本基準を高品質で国際的に整合性のあるものとする等の観点から、収益認識に関する包括的な会計基準の開発について検討されています。

平成30年1月1日以後開始する事業年度に適用が可能となることを念頭に置き、平成29年7月に基準・適用指針案が公表される見込みです。